

1390 | メディア論

2 単位（通信授業 2 単位）

金子伸二教授、岡川純子講師

授業の概要と目標

社会における情報・知識の拠点としての博物館の役割を理解するとともに、博物館活動においてメディアが果たしている教育・普及・研究面での機能を、メディアを活用した展示や資料解説、インターネットによる情報サービス、美術館における画像等のデータ活用などを題材に、メディア・リテラシーの視点から学ぶことで、メディアの形式と情報の意味との関係を把握し、情報発信の担い手としての知見と責任意識を獲得すること。

課題の概要

○通信授業課題 1、2

教材による学習の後、博物館を見学調査する。博物館内での情報発信の取り組み、視聴覚メディアによる展示解説の調査報告をまとめる。博物館における情報やメディアの扱い、活用、その効果と可能性を考察する2点の学修報告書を課し、個々に添削指導を行う。

*課題については学習指導書『メディア論 平成29年度』を必ず参照する。

授業計画

[通信授業]

- ・(教材による学習) 教育におけるメディア活用／視聴覚教育の源流と展開／視聴覚メディアの諸形態／メディアの概念と歴史／メディア「による」教育と、メディア「についての」教育／メディア・リテラシー教育の成立と展開／博物館におけるメッセージ伝達／メディアを活用した展示／教育の情報化／メディアに関わる諸権利 等
- ・(学修報告と添削指導) 博物館内における情報発信の取り組みについての調査／博物館展示における視聴覚メディアを用いた展示解説の調査

成績評価の方法

通信授業課題1と2を総合して評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「デザインリサーチI・II」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く）。

[備 考] 芸術文化学科文化支援コース3年次必修科目。

芸術文化学科造形研究コース3年次選択必修科目。

芸術文化学科以外の学芸員課程履修者は、「デザインリサーチI・II」の単位修得が無くても履修できる。

教材等

教科書：佐賀啓男編著『改訂 視聴覚メディアと教育』（樹村房 2010年）

学習指導書：『メディア論 平成29年度』（武蔵野美術大学造形大学通信教育課程 2017年）

その他

参考文献：『メディア・リテラシー』（菅谷明子著 岩波書店 2000年）ほか

学芸員課程履修者は、この授業科目は「博物館に関する科目」として取り扱われる。